2026 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名　　株式会社 資 生 堂
代表者名　　代表執行役 社長 CEO
藤原 憲太郎
（コード番号 4911 東証プライム）
問合せ先　　IR 部長　大島 由紀
（TEL. 03-3572-5111）

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年2月10日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

1. 2026 年 12 月期 通期連結業績予想の修正（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）

	売上高	コア営業利益	営業利益又は損失（△）	税引前利益又は損失（△）	親会社の所有者に帰属する当期利益又は損失（△）	基本的1株当たり当期利益又は損失（△）
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	990,000	69,000	59,000	60,000	42,000	105.12
今回修正予想（B）	1,025,000	87,000	87,000	87,500	62,000	155.16
増減額（B-A）	35,000	18,000	28,000	27,500	20,000	
増減率（%）	3.5%	26.1%	47.5%	45.8%	47.6%	
（ご参考）前期実績（2025年12月期）	969,992	44,520	△28,788	△27,715	△40,680	△101.83

（注）1. コア営業利益は、営業利益から構造改革に伴う費用・減損損失・買収関連費用等、非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しています。

2. 2026 年 12 月期 通期想定レート

前回発表予想：ドル＝150 円、ユーロ＝170 円、中国元＝20.5 円

今回修正予想：ドル＝158 円、ユーロ＝182 円、中国元＝23.0 円

2. 修正内容と主な要因

売上高については、日本、欧州、米州、およびアジアパシフィックでの売上動向の弱含みを踏まえ、実質ベース*では前回予想を下回る見込みです。一方、円安に伴う為替換算影響等により、売上高全体としては前回予想を上回る見通しです。

コア営業利益については、実質ベースでの売上が前回予想を下回ることに伴う差益減があるものの、全社を挙げたコストマネジメントの効果に加え、為替変動の影響および関税還付等の一過性要因も寄与し、前回予想を上回る見通しです。

営業利益、税引前利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は、収益力向上に加え、アセットライト施策の早期化等により、前回予想を上回る見通しです。

これまで推進してきた構造改革や全社的なコストマネジメントの徹底により、当社の収益基盤の強化は着実に進展しています。一方で、持続的な企業価値向上に向けては、売上成長の加速と継続的な収益性の改善が重要な課題であると認識しています。これまでに構築した経営基盤およびガバナンス体制を軸として、財務規律やROIC 経営の定着を図りながら、その実現に取り組んでまいります。

*為替影響および事業譲渡影響を除く

3. 配当予想

本業績予想の修正に伴う2026 年 12 月期の配当予想に変更はありません。当期は、中間配当 30 円（実施済）、期末配当 30 円と、年間 60 円の配当を実施する予定です。

（注）上記の業績予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上